

*****《入賞・入選者演奏の様子》*****

ジュニアの部（出場者3名）会場：小ホール（5階）

☆入賞第1位

☆入賞第2位

☆激励賞



水谷風太さん



三宅 燕さん



佐藤夢美さん



初心者の部A（出場者3名）会場：小ホール（5階）

☆入賞第1位

☆入賞第2位

☆入賞第3位



佐藤 将さん



西之原 育実さん



角田陽子さん



初心者の部B（出場者5名）会場：小ホール（5階）

☆入賞第1位

☆入賞第2位

☆入賞第3位



曽根智子さん



大岡ゆりさん



鈴木麻紗子さん



◇（小ホール）審査の様子◇
（左から）東 俊介（特別審査員）
松永勇次 柴崎和圭（敬称略）



司会 長澤さん 計時係 藤澤さん、宇野さん

小ホール客席の様子

シニアの部A (出場者 1 名)

☆入賞第 1 位



奥谷啓子さん

シニアの部B (出場者 18 名)

☆入賞第 1 位



石橋友子さん

入賞第 2 位



羽鳥和夫さん

入賞第 3 位



新井幸子さん

☆入選(10 名)・奨励賞



島元 文さん

☆入選・奨励賞



中村旬子さん

☆入選・奨励賞



園山 三左子さん

☆入選



浜崎秀子さん

☆入選



本田尚久さん

☆入選



本荘 雪子さん

☆入選



北村きよ江さん

☆入選



東谷 彰さん

☆入選



1、山口伊知郎さん

☆入選



満武直人さん



《シニアの部を担当された審査員》1階大ホール
 (敬称略) 左から、松原智美 大田 智美 川口 裕志 虞 錫安



司会 松井さん

一般中級の部 (出場者 28 名：内井名辞退) / 順位付け希望なし 2 名)

☆入賞第 1 位



久保美穂さん

☆入賞第 2 位



後平澤子さん

☆入賞第 3 位



須藤範子さん

☆入選 (5 名)



和里田 えり子さん

☆入選



浅川 共子さん

☆入選



石垣真里子さん

☆入選



中村奈保子さん

☆入選



杜 金風さん

☆激励賞



萩本善久さん

☆激励賞



峯島阿由美さん

☆特別審査委員賞



平木啓子さん



《一般中級の部・一般上級の部》を担当された審査員

(敬称略) 左から、松原智美 柴崎和圭 松永勇次 東 俊介(特別審査員) 大田 智美
川口裕志 虞 錫安



中級の部司会 功刀さん

一般上級の部 (出場者11名)

☆入賞第1位



若松 紀さん
☆入選

☆入賞第2位



渡部由美子さん
☆入選

☆入賞第3位



小林 のり子さん

☆入選 (3名)



皆川松江さん



本田千香さん



内田元子さん



上級の部司会 中村さん

*****《結果発表並びに講評・表彰式の様子》*****



(敬称略) 左から

虞 錫安
川口裕志
大田智美
東 俊介
柴崎和圭
松永勇次
松原智美

(左から、/の後はその部の審査委員長)「川口 裕志」 「大塚 雄一/初心者の部 A」
「大田 智美/シニアの部 A・B」 「内田 祥子/ジュニアの部 (ゲスト審査員)」 「柴崎 和圭

講評 (敬称略)

◇柴崎和圭・・・各審査員が譜面に書き込まれたアドバイスを後でじっくり読んで頂いて、次への励ましや頑張りにつなげていただければと思います。

時間がないので今回は、代表して特別審査員としてお招きした東俊介さんからコメントをいただきたいと思います。

特別審査員 東俊介



皆様どうもお疲れさまでした。

私は作曲家という立場で今回皆さまの演奏を聴かせていただくことになったんですけれども、私はアコーディオンの音が大好きでこういう機会に参加させていただきました。

それでも、今日のように1日中アコーディオンの音を聴くのは始めてして、それでもなお、夕方になってもまだ聴き疲れていないということに気が付きました。というのは、多分、アコーディオンの持ついろんな音色の豊かさに

あるんじゃないかということに気付いたことです。

今日皆さんが演奏した曲の中でも、1つの曲の中でもいろんなシーンがある中で、それぞれ適切なアコーディオンの音色というのがまた少しずつ違って演奏できるような、そういう楽器なはずなんです。なので、皆さんも演奏する中で、“ここはこういうふうに可愛いシーンだからちょっと可愛く自分なりにアレンジしてみよう”そういうふうな音の出し方をどうやったらできるんだろうということを少しずつ研究してみてください。

あともう一つ、作曲家という立場で言うとするならば、楽譜に書いてあること、それに縛られることなく、楽譜を無視して自分がこう弾きたいからこう弾いちゃえっていうことをやってみてください。もしそれがとんでもないひどいことだったら、先生方がそれはだめですっておっしゃってくれます。ということで、ちょっと自分なりのエッセンスを入れて演奏してみるっていうことをやってほしいなあと思ってた1日でした。今日はどうもありがとうございました。(拍手)

写真は講評のときの会場の様子



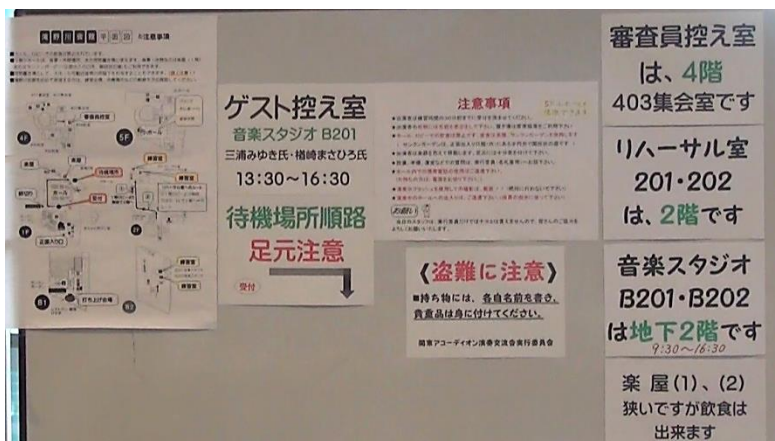
閉会のことば

実行委員長 塚本五郎

今日、朝になって1
人体調を崩したと
いうことで演奏で
きなかった方があ
りましたが、総勢6
8名が参加され最近に
なく盛況でした。みなさん素晴らしい
演奏をされたので、激励賞などもあつ
て多くの方に賞状を渡すことができ



嬉しく思います。審査員の先生方にもう一度大きな拍手でお礼したいと思います。本実は大変ありがとうございました。



会場の表示



演奏者に返却を待つ楽譜とメッセージカード



入口の立て看板

《ゲスト演奏の様子》

三浦みゆき（アコーディオン・コンサーティーナー） 檜崎まさひろ（バス・バリトン）



演奏曲

- 1 Loch Lomond (Old Scotch Air)
歌とアコーディオン
- 2 ローレライ (F. Silcher)
歌とアコーディオン
- 3 折ればよかった (ブラームス)
歌とアコーディオン
- 5 Time to say goodbye
アコーディオン ソロ
- 6 アメーシングル グレイス
コンサーティーナソロ
- 7 金髪のジェニー (Foster)
歌とアコーディオン
- 8 夢路より (Foster)
歌とアコーディオン



もう1つの演奏交流会

《打上げの様子》レストラン「けやき」(40名が参加)



まずは乾杯





◇ゲスト演奏者のお1人三浦みゆき氏より感想◇

こういう皆様方のこのトライアルが、結局世の中にアコーディオンの愛好家を増やすものになる。それから、人前で弾かないでなんぼだっていることです。

素敵なホールですしね、そういうところでの体験を買ったと思えばね、ホールを借りるって高いですからね、ほんの数分ですけれども、そこで経験した音の響きですとかもらった経験値という

のは人生の中で大きいプレゼントだったと思うんです。それは私も同じでした。いろんな事件が起こりますが勝ち負けは関係ないですね、一緒に歌った彼、今日は仕事があるので帰りましたが、彼がいつも言うんですけれど、音楽の進化っていうのは人間の方であって、間違ったからダメだっているじゃなくて、最初の1音から分かるんですね、温かいとか素晴らしいとか、そういうものをどうして鍛えたらいいかっていうのは、私にとっても生涯回答の出来ない答えになっていると思うのですが、大好きだっていることも大事なことです。これからも頑張ってくださいませ。



奥谷さん…シニアで初めて参加しました。合奏が好きでサークルに入ったんです。(拍手)



大岡さん…緊張したけれどもまた頑張りたい。(拍手)



杜さん…中国の上海から来ました。仕事の関係と会議の関係で上海の生活が長い。日本には、15日に向けて8月末に帰って来て、所沢の先生にアコーディオンを借りて練習していました。練習不足で緊張して指の動きが止まり上がってしまった。でも、入選したのでうれしかった(拍手)



山田さん…同じく金曜教室で練習しています。僕もきょう初めて参加しました(拍手)



佐藤さん…音楽センター金曜教室で練習しています。サラリーマンですけど仕事の10倍ぐらい練習しました。初めて参加して楽しい演奏会でした。(拍手)





藤井さん…中野区から来た藤井です。
前々から関東アコに出たいなと思っていて、2013年に仲間
がみんな出て自分もいつか出てみたいなと感じていたけれど
も出なかったんです、初めての参加です。まずは終わったので
飲んで帰ります。(拍手)





株式会社トンボ楽器製作所真野照久氏…

毎年聴かせていただいているんですけど、今年は参加者が多くて、レベルが高いと言いますか、誰が入賞するかわからないような演奏だったと思いますので、私が弾くのもちょっとおこがましいですけど、このまま順調に発展していけば我々としてもうれしい限りだなあとします。

これちょっと、アコーディオンとは関係のないことだと言いますか、いま、楽器業界でキャンペーンをしているのは「脳活、いわば認知症予防だとか幼児教育だとか、これは前々から楽器演奏は、そういうのにいいと言われていたんです。

最近、ちゃんと医学博士により研究成果として

出てきていて、認知症予防には楽器演奏が最もいいとされています。

やはり、楽譜を見て、それを消化して指に伝えて、で、またその音を聞いてそれでまた調整していくので脳を広範囲で使うのだそうです。なので、一番いい作業、他のどんな作業より脳を広範囲にちゃんと使うそうです。

それで、アマチュアのミュージシャンの方がプロの方より脳年齢が若いんだそうです。プロの方は、多分演奏家としてのストレスが入ってくるんじゃないでしょうか、楽しんでやるっていうことが最も重要なことなんですね。

今は高齢化社会に向かっていきますので、その課題解決には皆でアコーディオンを増やしていく(笑)それが日本のためになるんです。ということで、是非皆さんでこの楽しさを広めていただけたらなと思っています。(「1曲お願いします」の声)毎年1回、ここで「帰ってきたツバメ」を弾かせていただいています。と「帰ってきたツバメ」を演奏、また、“アンコール”の声に、美空ひばりの「お祭りマンボ」を演奏、会場の手拍子で盛り上がりました。(拍手)



最後は一本締めにて終了！



音頭を取るのは実行委員の田中さん



30周年記念コンサートで企画している「大オーケストラ」に参加を呼びかける事務局長